

平成31年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。	1 学力の伸長を目指してきめ細かな学習指導を行うことに加えて、ICT機器の活用やアクティブラーニングの実践も広がったが、十分な組織的な取組にまでは至っていない。 進路状況については、多くの生徒が希望の実現を果たした。ただ、安易な進路選択にはならないように、また、難易度の高い入試を突破するだけの学力を高めるために、3年間をとおして系統的な進路・学習指導を行っていくことには、更なる研究・実践の余地がある。	1 生徒一人ひとりを大切にし、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに、新学習指導要領の実施に向けて教育課程の研究を行う。 (1) 以下のことに取り組むなどして授業の質をさらに高める。 ・ICT機器の効果的な活用の推進 ・アクティブラーニングの推進 ・教員相互の授業研究交流 (2) 地域や社会とつながり自己を高める場として、また、自ら課題を発見し他者と協働しながら考えを深める場として、洛再Linksを組織的に実践していくとともに、総合的な探究の時間等の教育課程に位置づけていく。 (3) 将来の生き方につながる教育活動を展開するとともに、ポートフォリオ等により自らの活動を蓄積、意味づけて成長につなげる取組を進めていく。 (4) 学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。
2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団作りを行う。	2 部活動、洛西フェスティバル等の主体的な活動は、大半の生徒が熱意をもって取り組んでおり、活性化している。また、新学習指導要領の実施や、高大接続改革による大学入試の変化を見据えて、自主的・主体的な探究型学習である洛再Linksを1年生から始めることができた。今後、総合的な探究の時間の具体的な取組として今後位置付けていきたい。	2 開かれた学校づくりを展開する 本校の魅力を広く発信し、地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進する。
3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。	3 ホームページやお知らせメールの更新頻度を上げることで広報活動を精力的に進めることができた。今後は、地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高めるために、学校説明会を始めとする広報の機会をより充実させていく必要がある。	

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。	・部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 ・各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。		
	生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校づくりを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信に努める。	・学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に広報する。また、お知らせメール等を活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 ・洛再Links等におけるボランティア活動等を通じ地域とのつながりを大切にすることに努める。		
	生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。	・危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 ・生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い修学支援等の充実を図る。		

学習指導 ・ 生徒指導	<p>学習指導要領の改定を念頭に、現学習指導要領に基づく授業改善を図り、知識・技能や思考力・表現力・判断力を高める質の高い授業の実現に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングやICT機器を活用して、「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善を図る。 ・指導方法の工夫や改善を進め、積極的に公開授業等を実施し質の高い授業を目指す。 			
	<p>基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 ・制服の正しい着装や髪型など高校生らしい姿、身だしなみを指導する。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 ・スマートフォン(携帯電話)のモラルを教え、マナーを指導するとともに、SNSやネットとのかかわり合い方など情報機器の正しい使い方を指導する。 			
	<p>落ち着いた学習環境を作り、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに地域や社会とつながり、自己を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洛再Linksやボランティアにおいて、積極的に活動を奨励し、豊かな人間性を育み質の高い集団となるように指導する。 ・部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルに積極的に取り組み、健全な人間関係の構築を図るとともに、自主性・協調性の向上を図り、達成感を持たせるよう指導する。 			
進路指導	<p>個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 具体的目標として、国公立および難関私大への実合格者80人、国公立大学のべ合格者50人、難関私大80人を実現させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択をしていくように促す。 ・発展クラス、標準クラスともに確かな学力を身につけて進路を実現するために、様々な働きかけを講じる。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、LR等を活用して家庭学習の習慣化を促す。 ・個人面談を密にし、進路希望の明確化を図る ・教科指導や担任の面談の支援となる情報提供に努める。 ・大学入試等の制度改革について、適切な情報収集と対応を図る。 			
人権 ・ 健康 ・ 安全教育	<p>他者を思いやる心と他者を尊重する心を育て人権尊重の意識を高めさせるとともに自己肯定感を持たせる教育に努める。 PTAや地域と連携を深め、生徒の健全育成に取り組むとともに生徒の安心安全を守るため登下校の交通安全指導をはじめとする学校内外での安全教育に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高めて人権が守れる集団となるように指導する。 ・自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 ・不登校等の未然防止や学習・生活支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導や啓発にPTAや地域と連携して取り組む。 			

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

平成31年度に向けた改善の方向性	
------------------	--